

第 39 回 ボードレール研究会のお知らせ

共催：大阪大学フランス文学研究室

日時： 2019年 12月 28日（土） 14時 00分～ 17時 00分

場所： 大阪大学 文学研究科 中庭会議室

（〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町 1 - 5）

著書紹介：「新著『ボードレールの自己演出—『悪の花』における女と彫刻と自意識』について」

発表者：小倉 康寛（おぐら やすひろ）

一橋大学特別研究員。2017年に同大学で論文「ボードレールの自己演出：『悪の花』における女と彫刻」にて博士号取得。主な論文として、「ボードレールにおけるヴィンケルマン主義の受容」（『言語社会』(8) 295-316、2014）など。

発表1：「ボードレールにおける不可能な救済 —憂愁の詩学と現在の記憶—」

発表者：佐々木 稔（ささき みのる）

愛知学院大学非常勤など。2014年に論文「第二共和政下におけるボードレールの詩学—挫折した詩集『冥府』を通して—」にて名古屋大学で博士号取得。主な論文として、「頽廃と神話 ボードレールにおける古代性と現代性」（『日本フランス語フランス文学会中部支部研究報告集』(40) 37-65、2016年）など。

発表2：「ボードレールとオーギュスト・バルビエ」

発表者：清水 まさ志（しみず まさし）

宮崎大学准教授。2003年にフランス・ヴァランシエンヌ大学で博士号取得。主な著書として、「L'inspiration nordique de Baudelaire ボードレール「北方」のインスピレーション」（駿河台出版社、2005年）。主な論文として、「L'influence d'Hoffmann chez Baudelaire autour du "voyageur enthousiaste"」（*Études de Langue et Littérature Françaises* (115) 91-106, 2019）など。

※同日 17 時 30 分からは、石橋駅近辺にて懇親会を開催する予定です。予約の都合上、懇親会への参加を希望される方は、1週間前(12月21日)までに、廣田まで参加のご連絡をお願いいたします。(hirotadaichi アットマーク gmail.com)